

ことばの教室だより

乙女小学校 ことばの教室
令和5年 10月

10月

秋分の日も過ぎ、日が暮れるのがずいぶん早くなりました。また、暑さも和らぎ過ごしやすい日が多くなってきました。スポーツの秋・読書の秋・そして食欲の秋など、何をするにも気持ちのいい季節です。今月は、乙女小では運動会があります。このさわやかな季節の中で、児童が心と体を鍛え、それぞれ実りのあるものにしてほしいと思います。

10月の行事予定

13日(金) 6・7校時休室(運動会係打合わせのため)
19日(木) 午後休室(出張のため)
20日(金) 6・7校時休室(運動会準備のため)
23日(月) 運動会振替休日(乙女小)



★ビジョントレーニングについて

目の愛護デー(10月10日)にちなんで、『ビジョントレーニング』について紹介いたします。

『ビジョントレーニング』とは、簡単にお話ししますと、『視覚機能(見る力)を高める機能のトレーニング』です。

視覚機能とは、『見る力』に必要な機能のことを言います。『見る』ためには、視力だけではなく、見たいものに視線やピントを合わせたり、形や色を見分けたり、また見たものを脳で処理して体を動かしたり、様々な能力が必要となります。

視力はいいのに、「あれっ?」という様子が見られるときは、視覚機能の問題かもしれません。『音読の時に同じ行を何度も読んだり、読んでいるところが分からなくなったりする。』『文字を書くときに、文字が読めないほど整わなかったり、マスからはみ出したりする。』『文字を目で追わずに、頭を動かしながら本を読む。』等々・・・こんな様子が見られたら視覚機能の問題を疑う必要があるかもしれません。



筋肉を鍛えることで体力を増強させていくのと同じで、ビジョントレーニングでは、目のトレーニングを行うことで目の機能をアップさせることができます。

「子どもの心に寄り添うことばかけ」

子どもとの関係で困っていることや、どんな言葉をかけたらよいか、迷うことはありませんか。6月に、ことばを育む親の会の講演会がありました。その内容を一部以下に紹介します。

《 以下、栃木県スクールカウンセラー・公認心理士 福島 律子先生より》

○子どもとの関係で困っていること

- 1 言うことを聞かない、宿題・片付け・ゲーム・兄弟げんか
- 2 友達とトラブル
- 3 学習をやりたがらない、集中力がない・取り組みが遅い

このような場面の際、「勝手にしなさい」「もう知らない」などと言ったり、ゲームを取り上げたりしていませんか。子どもの自尊心を低下させないように、「大人からの信頼関係づくり」が大切です。

○どんな関わりをすればよいか？

★あいさつをしましょう。

- ・ お父さんお母さんから声をかけましょう。あいさつをすると心の距離が近くなります。

「おはよう。」「行ってきます。」「行ってらっしゃい。」「ありがとう。」

★お子様の話は最後までじっくり聞きましょう。

- ・ 否定やしつこい追及をせず、さりげなく聞きましょう。

「今日の学校は楽しかったかな？」「どんなことを勉強したの？」

「休み時間は何をしたの？」

★お母さん（お父さん）はね・・・と時には話しかけましょう。

- ・ そこから会話が広がることもあります。明るい話題を選びましょう。

○子どもとの会話で気をつけたいこと

①一人の人間として関わり、丁寧に優しく話を聞きましょう。

②I(私)メッセージで伝えましょう

③NG言葉は使わないようにしましょう。

×「もう知らない」「そんな子はいない」「勝手にしなさい」

②のI(私)メッセージとは…

私もOK、あなたもOKと自分も相手も大切にするコミュニケーション

- (1) 受け止める（はい、わかったよ、ありがとう等）
- (2) I(私)メッセージで話す。→私を主語にして自分の気持ちを伝える。
- (3) お願いまたは質問する形で話す。（～してください。～してね。等）

子どもたちは「育ちたい」「愛されたい」気持ちでいっぱいです。
温かいことばかけで温かく関わりましょう。

※詳しい内容を知りたい方は、別紙資料もありますので、担当者までお声がけください。



子どもの心に寄り添うために

1 子どもの話を良く聞きましょう。

さえぎらない・最後まで・批判しないで聞くと、受け入れてくれたと感じます。

2 話しかけましょう。

無視されることほどは辛いものではありません。たとえ、返事をしなくても、素直になれなくても、話しかけてくれる人は自分を見ていてくれると感じます。

3 子どもの好きなことを認めましょう。

自分の好きなことを認められると、自分が認められたように感じます。

4 できるだけプラスに考えましょう。

家庭が明るい雰囲気になり、居心地の良い場所だと感じます。

5 肯定的な言葉遣いをしましょう。

生活が前向きになり、エネルギーがたまります。

6 子どもの人生の選択を尊重しましょう。

自分の人生を精一杯生きようという気持ちになります

7 ありのままの子どもを受け入れましょう。

自分を大切にされたと感じます。

